

平成26年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社IGポート

コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 中野広之

TEL 0422-53-0257

四半期報告書提出予定日 平成26年4月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第3四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第3四半期	5,324	28.5	579	—	576	—	393	—
25年5月期第3四半期	4,142	18.2	△183	—	△155	—	△220	—

(注) 包括利益 26年5月期第3四半期 284百万円 (—%) 25年5月期第3四半期 △217百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第3四半期	82.28	80.85
25年5月期第3四半期	△46.21	—

(注) 当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年5月期第3四半期	7,653	4,295	55.9
25年5月期	7,759	4,321	54.5

(参考) 自己資本 26年5月期第3四半期 4,280百万円 25年5月期 4,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	200.00	200.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。平成26年5月期の配当金(予想)は、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,648	0.7	573	185.0	577	140.1	336	161.9	70.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期3Q	4,948,600 株	25年5月期	4,895,200 株
② 期末自己株式数	26年5月期3Q	320,400 株	25年5月期	120,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期3Q	4,781,419 株	25年5月期3Q	4,774,800 株

- (注) 1 当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。
上記の株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行なわれたと仮定して算定しております。
2 当社は、当第3四半期連結累計期間より「株式給付信託(J-ESOP)」を導入しております。J-ESOP信託口が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により発行済株式数が53,400株増加しております。業績予想における1株当たり当期純利益は、当該増加株式数を反映して算出しております。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済対策や金融緩和策により、円高の是正や株価が上昇し、企業業績の回復や個人消費の改善等、景気回復の兆しが見られました。海外においては、米国や欧州でも景気は緩やかに回復しておりますが、ウクライナ情勢や中国の債権デフォルト問題、また、米国において量的金融緩和策の縮小が進み、経済成長の鈍化している新興国から投資マネーが流出しており、通価安や株安が新興国に広がり、深刻化すれば世界経済の波乱要因となる等、不安要素も残る状況で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売及び電子コミックスで課金を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,324,048千円(前年同期比28.5%増)、経常利益は576,050千円(前年同期は155,750千円の経常損失)、四半期純利益は393,434千円(前年同期は220,628千円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、劇場用アニメーション「ジョバンニの島」、テレビ用アニメーション「進撃の巨人」「黒子のバスケ 第2期」「げんしけん二代目」「パディファイト」等、ビデオ用アニメーション「よんてますよ、アザゼルさん。イソギンチャク編」等、その他ゲーム用・CM用のアニメーションを制作いたしました。

以上により、当事業の売上高は3,144,962千円(前年同期比31.0%増)、セグメント利益は234,432千円(前年同期は86,910千円のセグメント損失)となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、新刊は、月刊誌「コミックブレイド」「コミックアヴァルス」、コミックス「flat」8巻、「にがくてあまい」7巻等、定期月刊誌18点並びに新刊コミックス97点を刊行しました。また、既刊の「曇天に笑う」は、特に販売好調でありました。

なお、ウェブ雑誌であるEDEN及びケータイサイトで連載された作品のコミックスの刊行は5点となり、ケータイ配信を含む有料課金での電子配信に作品追加しており、合計249作品となっています。

以上により、当事業の売上高は804,898千円(前年同期比14.5%増)、セグメント損失は12,401千円(前年同期は133,545千円のセグメント損失)となりました。

③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「宇宙戦艦ヤマト2199」「進撃の巨人」「翠星のガルガンティア」「攻殻機動隊ARISE」「PSYCHO-PASS サイコパス」等の二次利用による収益分配を計上しました。特に「宇宙戦艦ヤマト2199」「進撃の巨人」は、ブルーレイディスク・DVDの販売及び配信が好調に推移し、また、大型作品への出資による映像マスターの減価償却が終わり、当事業の費用負担が減っております。

以上により、当事業の売上高は1,166,337千円(前年同期比31.7%増)、セグメント利益は429,838千円(前年同期比378.1%増)となりました。

④ その他事業

その他事業につきましては、雑誌のイラストやキャラクターの商品化、ゲームやiPhone/iPod Touch向けアプリ等により当事業の売上高は207,850千円(前年同期比35.3%増)となり、セグメント利益は11,479千円(前年同期比12.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ106,792千円減少し7,653,088千円となりました。主な要因は現金及び預金が501,515千円増加し、一方、映像マスターが311,360千円、受取手形及び売掛金が237,964千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ81,526千円減少し3,357,134千円となりました。主な要因は未払法人税等が246,155千円、未払金が166,556千円増加し、一方、前受金が286,352千円、買掛金が132,992千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ25,266千円減少し4,295,954千円となりました。主な要因はストック・オプションの行使により、資本金及び資本剰余金が26,700千円づつ、四半期純利益の計上等により利益剰余金が383,884千円増加し、一方、少数株主持分が75,863千円減少し、また、株式給付信託(J-ESOP)の導入により自己株式が348,000千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月期通期の業績予想につきましては、第3四半期の業績及び今後の見通し等を踏まえ、平成26年1月14日に公表しました業績予想を修正いたしました。

平成26年5月期通期は、売上高6,648百万円、営業利益573百万円、経常利益577百万円、当期純利益336百万円と予想しております。

詳細は、本日別途公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(株式給付信託 J-ESOP)

当社は、当第3四半期連結会計期間より、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成25年12月25日)を早期適用しております。

当社は、平成25年12月20日開催の取締役会において、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」(以下「本制度」といい、本制度に関してみずほ信託銀行株式会社と締結する信託契約に基づいて設定される信託を「本信託」といいます。)の導入を決議しました。

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員及び当社グループ会社の役職員(以下、「従業員等」といいます。)に対し当社株式を給付する仕組みです。

当社は、従業員等に対し個人の貢献度等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権の取得をしたときに当該付与ポイントに相当する当社株式を在職時に無償で給付します。従業員等に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

本制度の導入により、従業員等の株価及び業績向上への関心が高まり、これまで以上に意欲的に業務に取り組む、中長期的な事業拡大及び将来の当社グループ経営を担う有能な人材の確保が期待されます。

当社株式の取得及び処分については、当社と信託口は一体であるとする会計処理をしております。従って、信託口が所有する当社株式を含む資産及び負債並びに損益については四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に含めて計上しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末日に株式給付(J-ESOP)信託口が所有する自己株式数は、総額法の適用により四半期連結貸借対照表の純資産の部に自己株式として表示しており、計上額は348,000千円、株式数は200,000株であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,251,824	2,753,339
受取手形及び売掛金	1,022,168	784,204
商品及び製品	95,729	126,674
仕掛品	1,306,313	1,311,916
貯蔵品	7,412	8,330
前渡金	162,797	90,997
繰延税金資産	55,790	75,343
その他	52,578	43,734
貸倒引当金	△190	△360
流動資産合計	4,954,424	5,194,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	762,280	722,652
土地	838,506	838,506
映像マスター(純額)	668,382	357,022
その他(純額)	50,349	48,933
有形固定資産合計	2,319,518	1,967,113
無形固定資産		
のれん	118,455	98,431
その他	20,661	14,520
無形固定資産合計	139,116	112,951
投資その他の資産		
投資有価証券	155,088	148,141
その他	205,069	243,911
貸倒引当金	△13,336	△13,210
投資その他の資産合計	346,821	378,841
固定資産合計	2,805,456	2,458,907
資産合計	7,759,881	7,653,088

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	625,360	492,367
短期借入金	300,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払金	412,260	578,817
未払法人税等	7,620	253,776
前受金	1,407,410	1,121,057
賞与引当金	—	40,698
役員賞与引当金	3,981	5,975
返品調整引当金	58,900	48,163
受注損失引当金	36,917	15,505
その他	266,464	210,888
流動負債合計	3,158,911	3,107,244
固定負債		
長期借入金	219,184	189,187
退職給付引当金	35,037	35,358
その他	25,527	25,344
固定負債合計	279,749	249,889
負債合計	3,438,660	3,357,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	701,400	728,100
資本剰余金	1,842,569	1,869,269
利益剰余金	1,738,462	2,122,347
自己株式	△72,870	△420,870
株主資本合計	4,209,561	4,298,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	261	—
為替換算調整勘定	20,320	△18,106
その他の包括利益累計額合計	20,581	△18,106
少数株主持分	91,077	15,214
純資産合計	4,321,220	4,295,954
負債純資産合計	7,759,881	7,653,088

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
売上高	4,142,185	5,324,048
売上原価	3,715,232	4,203,558
売上総利益	426,953	1,120,489
返品調整引当金戻入額	10,900	10,736
差引売上総利益	437,853	1,131,226
販売費及び一般管理費	621,654	552,209
営業利益又は営業損失(△)	△183,801	579,017
営業外収益		
受取利息	725	1,331
デリバティブ評価益	11,610	—
為替差益	4,565	—
受取賃貸料	24,515	25,824
保険解約返戻金	9,799	—
その他	4,068	3,470
営業外収益合計	55,284	30,626
営業外費用		
支払利息	4,696	3,821
為替差損	—	2,237
投資有価証券評価損	—	5,870
賃貸収入原価	19,476	19,233
その他	3,059	2,430
営業外費用合計	27,233	33,593
経常利益又は経常損失(△)	△155,750	576,050
特別利益		
固定資産売却益	44	—
特別利益合計	44	—
特別損失		
固定資産売却損	126	—
固定資産除却損	480	—
減損損失	—	7,385
特別損失合計	607	7,385
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△156,313	568,664
法人税、住民税及び事業税	17,095	268,846
法人税等調整額	48,768	△23,809
法人税等合計	65,863	245,037
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△222,177	323,627
少数株主損失(△)	△1,548	△69,807
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△220,628	393,434

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△222,177	323,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	180	△261
為替換算調整勘定	4,269	△38,427
その他の包括利益合計	4,450	△38,688
四半期包括利益	△217,726	284,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△216,177	354,746
少数株主に係る四半期包括利益	△1,548	△69,807

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間におきまして、「株式給付信託(J-ESOP)」の信託契約に基づき自己株式200,000株の取得を行いました。この取得により自己株式が348,000千円増加し、当第3四半期会計期間末における自己株式は420,870千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	版權事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,399,962	702,977	885,578	3,988,518	153,667	4,142,185
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,399,962	702,977	885,578	3,988,518	153,667	4,142,185
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△86,910	△133,545	89,902	△130,553	10,218	△120,334

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△130,553
「その他」の区分の利益	10,218
のれんの償却額	△20,023
全社費用(注)	△43,442
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△183,801

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作 事業	出版事業	版權事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,144,962	804,898	1,166,337	5,116,197	207,850	5,324,048
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,144,962	804,898	1,166,337	5,116,197	207,850	5,324,048
セグメント利益又はセグメント損失(△)	234,432	△12,041	429,838	652,229	11,479	663,708

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	652,229
「その他」の区分の利益	11,479
のれんの償却額	△20,023
全社費用(注)	△64,667
四半期連結損益計算書の営業利益	579,017

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。